

令和 3 年度 敬川保育所事業計画

社会福祉法人 敬川保育所

2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日

令和3年度 敬川保育所事業計画

1.基本方針

< 保育理念 >

子どもの人権や主体性を尊重し、子供の最善の利益を守り保護者からも信頼され、地域に愛される保育所を目指す。

< 目指す子どもの姿 >

- ★心身ともに健康で豊かな子ども
- ★友だちを大切にし、元気に遊ぶ子ども
- ★自分でできることに喜びを感じる子ども

< 年間の目標 >

【子どもの主体性を大切にする保育】

自分で考え、行動できる子に育ててほしいという思いから子ども達の主体性を育てていきたいと思えます。子ども達が自信をもって何事にも取り組めるよう、保育士が思いを受けとめ、安心して自己発揮できるよう関わっていきたいと思えます。

【快適に生活できる環境づくり】

子ども達が心も身体も動かして思いきり遊べる環境を整えていきたいと思えます。子供たちの「なんでだろう」「もっと！」というようなやる気・好奇心を育ていける環境を作っていきたいと思えます。

< 育ててほしい3つの力 >

- 「生活する力」～基本的な生活習慣については、各年齢ごとにできることは違いますが、自分のことが自分でできるようになると自信がつけます。又、集団生活の中で約束事や決まりを守る大切さも理解していきます。
- 「関わる力」～子供たちは人との関わりの中で沢山の事を学びます。友だちとトラブルになった時は相手の思いを聞き、折り合いをつけていけるようになります。異年齢との関わりでは思いやりの心が育ててほしいとおもいます。
- 「学ぶ力」～子ども達は遊びを通して、沢山の事を学びます。子ども達が自ら遊び込めるような時間、空間を用意していきたいと思えます。

◆日々の生活の中で、この「3つの力」が育つよう丁寧に知らせ、子ども達の心と身体の成長をしっかり支えていきたいと思えます。

◆安全面には十分配慮し、保護者の方が安心して子どもさんを預けていただける保育所でありたいと思えます。

< 職員の研修 >

- ・園外で開催される研修（キャリアアップなど）には、正規職員、嘱託。パート関係なく積極的に参加していきたいと思えます。

- ・園内研修を年間計画を立て進めていきます。(救急法、感染症の対応、マニュアルの確認、保育指針の内容を深めるなど)
- ・全職員で“保育の質の向上”と“職員の資質を高める”為に努力していきたいと思います。

2.施設運営

(1) クラス編成 (令和3年4月1日時点)

クラス	年齢	配置職員
ゆり	5歳児	保育士3名
きく	4歳児	保育士2名
さくら	3歳児	保育士2名
すみれ	2歳児	保育士2名
うめ	1歳児	保育士4名
もも	0歳児	保育士5名

(2) 在園児数 (令和3年4月1日時点) 昨年85

	もも	うめ	すみれ	さくら	きく	ゆり	計
年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	
男	1	8	7	9	6	11	42
女	4	2	5	6	9	10	36
計	5	10	12	15	15	21	78

途中入所予定…もも組(0歳児)4月1名、5月1名、6月1名、
9月1名、10月1名、12月1名、3月1名の計13名
すみれ組(2歳児)5月末退所1名
【最終受入予定人数85名】

3.保育

(1) 方針

- ・保育にかかわる専門職同士が協力しながら、それぞれの専門性を発揮しながら養護と教育の一体的な展開を図り、保育の内容の質を高めていく。
- ・子どもの主体的な発達要求に応答する環境を整え、一人一人が興味や関心を持ってかかわり、年齢なりの心情、意欲、態度を養う。
- ・地域社会との交流のなか、伝承文化を大切にする心やお年寄りや親しむ心などを育てる。

(2) 給食・食育方針

＜食育年間目標＞

- ★楽しく食べる体験を重ね「生きる力」の基礎を培う。
- ★栽培やクッキングを通して食に関心を持つ。
- ・クッキング保育や栽培活動などを通し、食への関心を持たせ望ましい食習慣を身につける。
- ・調理と保育の職員が連携して食育活動に取り組む。

(3) 安全管理

安全点検チェック	毎日	
遊具点検	毎月	業者による点検年1回
消防設備等自主点検	毎月	
消防設備点検	年2回	ALSOK
交通安全指導	年1回(4月)	川波駐在所立ち合い
避難消火訓練	毎月	火災・地震・風水害
消防訓練	年1回(10月頃)	消防署立ち合い
不審者対応訓練	年1回(1月頃)	江津警察署立ち合い

(4) 健康管理

園児健康診断	年2回(6月・11月)
園児歯科検診	年1回(5月)
身体測定	毎月
ほけんだより	年4回発行(季節ごとに)
害虫駆除機	毎日(夜間)

(5) 年間行事計画

- ・季節ごとの行事は大切に考え、子ども達に知らせていきたい。
- ・地域の方との関わりを深めていきたい。

月	行 事	月	行 事
4	入園・進級おめでとうの会 歓迎会 交通安全教室 こいのぼりあげ・子どもの日のつどい	10	少年自然の家(ゆり) 小遠足 さつま芋掘り 消防訓練(通報訓練含む) お店屋さんごっこ
5	食育の日(集会) 歯科検診	11	さんま焼きパーティー・芋煮会 園児健康診断(後期)
6	園児健康診断(前期) さつまいも苗植え じゃがいも掘り	12	生活発表会 クリスマス会 年末年始休所(1/4まで)
7	まきづくり 七夕会 カレーパーティー 夏祭り お泊り保育(ゆり)	1	もちつき会 不審者対応訓練
		2	豆まき会 親子ふれあい会(ゆり)
8	プールおさめ	3	ひなまつり会 おわかれ会 卒園式 修了式
9	運動会		
毎月の行事・・・誕生日会、キッズサッカー(ゆり)、開放保育(第3水曜日)、絵本の読み聞かせ			

※地域との交流は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ対応する。

(6) 各種係を設置し、職員全員が参加して運営します。

保健係	ほけんだより発行。検便（職員）の用意。保健用品の整理。
図書係	絵本の整理、整頓、おすすめ絵本の展示。
環境係	溝掃除、倉庫の掃除、プランターの草取りなど屋外・屋内の環境整備や玩具の整理点検。ボールの空気点検、玄関の季節の飾り。
遊び（レクリエーション）係	こどもの日のつどい、プールびらき、お別れ会等の準備及び進行。なかよし DAY（縦わりで遊ぶ活動の企画）
写真掲示・ホームページ係	行事の写真を撮り、貼り出し、その様子を保護者に知らせる。保育園のホームページの写真選定やコメント作成、更新作業。
食育係	食育の集会の準備及び進行。食に関する展示や活動。

4. 職員の処遇

(1) 職員構成

- ・ 正規職員 10 名（所長 1 名、主任保育士 1 名、副主任保育士 1 名、保育士 5 名、調理員 1 名、事務員 1 名）
- ・ 嘱託職員 8 名（保育士 7 名、調理員 1 名）
- ・ パート職員 8 名（保育士 5 名、補助員 1 名、調理補助 2 名）
- ・ 嘱託医 2 名（内科医 1 名、歯科医 1 名）

(2) 健康管理

職員健康診断	全職員（年 1 回）
職員検便	毎月 1 回
職員インフルエンザ予防接種	全職員（年 1 回）

(3) 外部連絡会

江津市保育研究会：理事会、主任会、保育士部会、調理担当者部会

(4) 保育所内会議

職員会（保育会議、給食会議含む）毎月 1 回、その他随時

(5) 職員研修

- ・ 施設外研修：外部研修計画を作成し、それに基づいて適切な研修への参加を推奨する。
- ・ 施設内研修：園内研修計画を作成し、それに基づいて年間数回、研修を行う。外部講師を招く予定。

(6) 福利厚生

- ・ 社会福祉施設職員等退職手当共済
- ・ 島根県民間社会福祉施設従事者互助会

5. 特別保育事業

- (1) 延長保育事業
- (2) 一時保育事業
- (3) 障がい児保育事業
- (4) 発達促進保育事業

6.保護者との連携

- (1) 保護者会
 - ・夏祭り、運動会の手伝い
- (2) 保育参観
 - ・各クラスごと年 1 回（ゆり組年 2 回）
- (3) 個人懇談
 - ・ゆり組（年 2 回）
 - ・きく、さくら、すみれ、うめ組（年 1 回）
 - ・もも組は希望者
- (4) お知らせ
 - ・うやがわだより（毎月）
 - ・献立表（毎月）
 - ・クラスだより（年 2 回）
 - ・保健だより（年 4 回）
 - ・その他（随時配布またはお知らせボードに張り出し）
- (5) 親子遠足、もちつき会

7.地域との交流活動

- (1) 地域行事への参加
 - ・敬川八幡宮例大祭、敬川文化祭、敬川敬老会
 - (2) 高齢者との交流
 - ・高齢者施設との交流（ミレ青山、モモ、故郷）、ニコニコ給食訪問
 - (3) 園行事への地域住民の招待
 - ・夏祭り、運動会、芋煮会、生活発表会
- ※新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえ対応する。

8.小学校との連携

- (1) 保小連絡会、情報交換会

9.実習生・職場体験の受入れ

- ・実習生 8 月に 1 名（予定）

10.施設管理

- (1) 固定資産物品及び備品管理
 - ・必要に応じて、備品・消耗品の購入を行う。
 - ・必要に応じて、機器・遊具等の修繕を行う。
- (2) 令和 3 年度中に、保育所園舎の耐震診断を検討。
- (3) 令和 4 年度に、公益財団法人車両競技公益資金記念財団による保育所等の整備に対する助成事業の助成を受けての屋根防水工事の検討。（設計事務所への依頼等）